



◆性フェロモン剤取り扱いについて《重要》

りんご、ももネクタリン、プルーン等は、性フェロモン剤設置を前提とした、防除

暦となっています。注文忘れに注意を！

1. 注文方法: 年間予約(令和8年施肥・防除手引き 肥料・農薬の果実袋の予約注文書 果樹編)で注文。

※年間予約期限以降も、対応致しますので、JAファーム・資材店までご相談ください。

2. 配布方法・時期: その他農薬と一緒に配布。2~3月の配布。

3. 留意事項:

1) 注文書記入: 規格単位(袋単位)で記入ください。

2) 予約注文を忘れた場合は、当用対応となります。最寄りのJAファーム店・資材店までご相談ください。

3) 設置時期、方法は、時期になりましたら、部会を通じて資料配布致します。

今回より、近年発生が増加している主幹病害虫「ヒメボクトウ」用の性フェロモン剤「ボクトンコン-H」
を追加いたしました。

※ヒメボクトウとは:りんごを中心になしにも被害を及ぼす。被害は細い枝、太い主枝、時に幹にも見
られ、幼虫が集団で摂食するため、枝幹の衰弱や枯死を招き、樹の生産性が著しく低下させる。

5. 設置本数

品目	性フェロモン剤	10a当たり設置本数	対象害虫
りんご	コンフューザーR	100~120本	シンクイムシ類2種・ハマキムシ類3種
	ナシヒメコン	150本(1回100本・2回50本)	ナシヒメシンクイ・スモモヒメシンクイ
もも ネクタリン	コンフューザーMM	120本	シンクイムシ類2種・ハマキムシ類2種・モモハモグリガ
プルーン すもも	ナシヒメコン	150本(1回100本・2回50本)	ナシヒメシンクイ・スモモヒメシンクイ
なし	コンフューザーN	200本	ナシヒメコン・ハマキムシ類4種
全般	スカシバコンL	100本	核果類 コスカシバ
りんご なし	ボクトンコン-H	100~150本	ヒメボクトウ

※面積当たりの設置本数が少なく、十分な効果を得られていない圃場があるため、適正本数の設置をする。樹の本数に関係無く、面積換算で設置する。

6. 補助金 : 令和8年度JA事業分量配当金対象となる場合があります。(要件あり)

◆『令和7年度 果樹秋苗』苗木配布時期について《重要》

8月発行果樹総合情報で注文の取りまとめをしました果樹秋苗の配布時期ですが、近年の気象条件により種苗業者からの出荷が1週間程遅れますので、例年と配布時期が相違してきますのでご了承ください。
問い合わせ先: 各JAファーム店、営農資材センター、支所経済店までお問い合わせください。

◆果樹経営支援対策事業(一部)・果樹先導的取組支援事業・果樹産地再生支援事業(令和元年台風19号災害)を受けた皆様へ

収入保険又は果樹共済への加入が必須です。加入忘れにご注意ください。

◆GAP手法（農業生産工程管理）取り組みと提出について

※長野県GAPは、国際水準化し新たなGAPに。

1. GAP（ギャップ※）とは手法導入の目的

GAPは、①農場経営管理全般、②労働者の安全管理（労働安全および労働者的人権保護）、③食品安全、④環境保全、の視点から、農産物や労働の安全性の確保や環境の保全に向けて、適正でより良い農業を実践していく農業現場の改善活動です。

※GAP: Good Agricultural Practices

「良い農業の実践」などと訳されますが、農林水産省では「農業生産工程管理」と表現しています。

2. GAPに取り組むメリット

-「GAP」に取り組むメリットは？-		
	GAPの実践内容	GAP実践による効果！
リスクの低減	リスクを管理するため、食中毒や異物混入、労働災害のリスクに気づく！	 万を備えて対応することで、事故時に被害を最小限に！
コストの削減	肥料などの経営資源を在庫管理と記録で正しく把握 ⇒ムダな経費に気づく！	 使用資材やその購入量を見直し、生産コストを削減！
生産性の向上	栽培計画の策定と、工程管理を詳しく実施 ⇒ムダな工程に気づく！	 無理・無駄のない計画で実施し、生産性を向上！
労働安全 人権保護	労働安全の確保の取組の実施と、作業者が気持ちよく作業できるように整備 ⇒事故を未然に防ぐ！	 労働安全を確保した作業の実施で、結果的に作業効率も向上！

3. 長野県GAP生産者確認表（チェックシート）を使用で、自らのGAPの取り組み状況を確認

1) 取り組みに○印が付かない項目について、改善に取り組みましょう。

4. 配布書類

1) 長野県GAP生産者確認表（全品目）**提出用**

2) 長野県GAP生産者確認表（全品目）**控え用**

3) 長野県GAP生産者確認表（全品目）**記入例保存版**

5. 提出先・期日：長野県GAP生産者確認表（全品目）**提出用**を

令和7年12月11日（木）までに部会地区役員さんへ。または、直接各流通センターも可。この場合、部会地区役員さんに報告ください。

※役員さんは、12月12日（金）までに各流通センターへ

◆「チェック！ながの県農業サポートメール」紹介について

県では農業被害の未然防止と被害軽減を図るため、災害発生の恐れがある場合、農業者の皆さんに技術対策を直接お届けしています。現在、より迅速に、かつ確実に情報をお届けするため、民間の「メールマガジン」を活用した情報配信を無料でしていますので、ご活用ください。

1. メールマガジン（まぐまぐ）

1) 配信時期： 災害の発生が予測される場合、その都度配信します。

2) 受信：スマートホン等の端末

2. 配信する情報

晩霜や台風の影響など農業災害が予想される時などに、事前対策などの情報をお知らせします。

3. 登録方法 【URL】 <http://www.mag2.com/m/0001627956.html> より

◆農薬登録販売終了・登録失効予定のお知らせ《果樹関係》

主なものをお知らせします。影響の大きい品目もあり、順次防除暦についても、変更していきます。

農薬名	販売終了予定	登録失効（予定）	内容
ベフラン液剤	販売終了	令和7年11月	防除暦削除
アーデントフロアブル	当面製造休止。有効期限内使用可能。		
サイアノックス水和剤	販売終了	未定	防除暦削除
サイハロン水和剤	令和9年2月	令和9年3月	令和9年防除暦削除
スカウトフロアブル	令和8年	未定	令和9年防除暦削除
ミクロデナポン水和剤	令和8年2月	令和8年3月	営農技術員に個別相談
ストップポール液剤	当面製造休止。有効期限内使用可能。		
ジベレリン錠剤	メーカーが粉末に集約。		

※登録失効時期は、前倒しになる場合があります。

※啓発のため、過去にお知らせした内容も含んでいます。

◆農薬適正使用基準について

下記、インターネットサイトで最新の情報が取得できますので、参考にしてください。

農林水産省 農薬登録情報提供システム：<https://pesticide.maff.go.jp/>

また基本通り、農薬ラベルを確認しながら、農薬の適正使用に努めていただきますよう、お願い致します。

◆苗木管理方法（保管～定植）資料について

各流通センター・共選所・JAファーム・資材センター・支所経済課まで。

◆少量品目防除暦について

キウイ・マルメロ・カリン・栗・柿・くるみ・ブルーベリー防除暦は、各流通センター・共選所・JAファーム・資材センター・経済課に備え付けてあるので、利用下さい。

◆凍害防止対策の徹底について

冬期の気温によっては、凍害並びに胴枯病の発生が予想される。冬期の低温によっては成木でも凍害を受け枯死するものが多いので、防寒対策を徹底する。若木で樹勢が強いものは、特に凍害を受けやすいので、丁寧に防寒を実施する。

【稻ワラによる方法】

稻わらが現状、最も効果が高い。日中の昇温がないから、日較差10～12°Cですみ温度変化が少ないため効果が高い。

1. 防寒の実施は、12月初旬に行う。
 2. 特に3～5年生樹は特に被害を受け易いので防寒を徹底するが、それ以降の年代の樹でも樹勢が旺盛な樹は実施する。
 3. 主幹部を稻ワラで厚さ5cm以上に巻く。
 4. 幹の下部から上部に向けて、穂先を上にして巻き、雨水・融雪水が外に流れ落ちるようにする。
 5. 稻ワラは濡れると防寒の効果が低下するので、シルバーポリや反射マルチ等または幅広の粘着テープで上部を10cm位覆う。
- なお、稻ワラの周りをビニールで覆うと 一層日中と夜間の気温格差が生じ凍害が助長されるので、上部のみを覆う。
6. 地際部は15cm以上、盛土を行う。(接木部の上まで盛り春に取り除く)

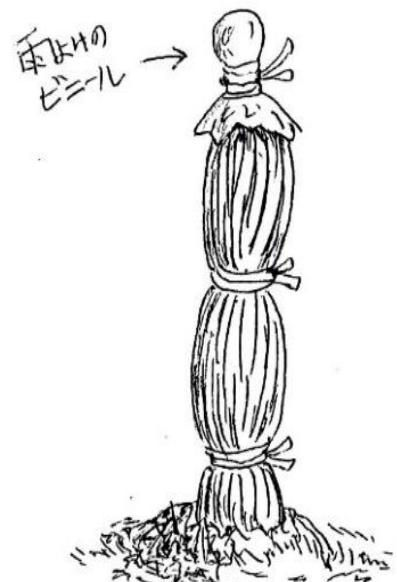


図1 苗木の防寒方法

7. 春（4月）に稻ワラを取り除いてからは、日焼け防止も兼ねて、白塗材を塗布する。

凍害防止のためにはワラの取り除きは遅い方が良い。

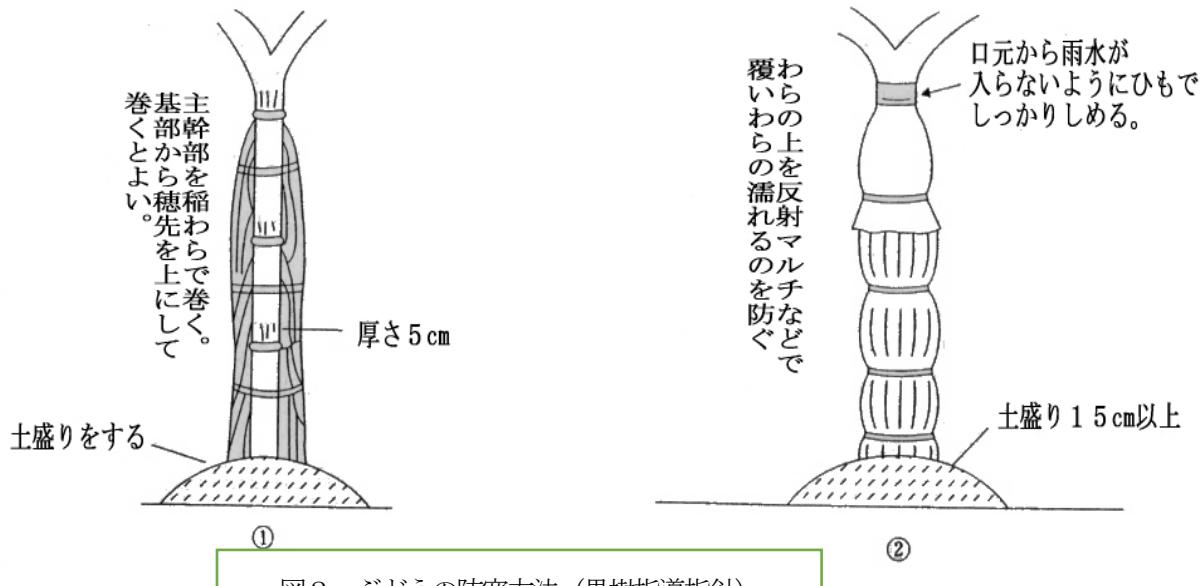
【白塗剤による方法】

日中の温度は上がりにくいが、夜に温度が下がるため注意する。

※ポリ巻きによる方法は、実施しない。日中は保温効果で内部が30°C以上になり、夜間は零下5~10°Cの日較差があり、40°C近い激変になり湿気もたまってしまう。

【整枝せん定】

1. 凍害の発生が多いため、年内は実施しない（特にモモやブルーンといった核果類）縮伐・大枝抜き・若木は、特に多いので2月下旬~3月中旬に実施する。
2. せん定で大きな切り口を作らなければならない場合は、必ず小さな（生きている）枝や芽を残し、長めに切る。傷口が乾く前に塗布剤を必ず塗る。
なお、小さい枝や芽の無い「デベソ」切りは、樹液が流れず傷口の癒合が悪いため、枯れ込みしやすい。
春・夏に切り直す。



◆雪害並びに凍害対策について

1. 防鳥網をかけてある場合は、雪の降る前に取り除く。
2. 中柱や支柱を利用し、雪の降る前に棚の補強を実施する。
3. 連日の降雪があった場合は早急に雪落しを行い、棚の倒壊・幹の裂傷等「雪害」を防止する。